令和３年度

学校関係者評価報告書

令和４年３月

筑波研究学園専門学校

学校関係者評価委員会

■令和３年度 学校関係者評価について

筑波研究学園専門学校では、平成２０年度より自己点検・評価委員会を設置し、日頃の教育活動について自己点検・評価を実施してきました。また、平成２５年度からは、企業及び業界団体や保護者、卒業生等で構成する学校関係者評価委員会を設置し、様々な立場を代表する委員の皆様から学校運営・教育活動実績報告書をもとにご議論いただき、本校の学校運営や教育活動に対して点検・評価していただいております。

以下、先般開催した学校関係者評価委員会の評価結果について報告します。

１．実施日時・場所

令和４年２月２８日（月）１３：３０ ～１４：５０

筑波研究学園専門学校 １号館 会議室

２．実施方法

（１）実施組織：学校関係者評価委員会

○委員長

古森　貞弘	茨城県立牛久高校元校長	教育関係

○評価委員

俣野　祐介	学校法人 霞ヶ浦高等学校 進路指導部長	教育関係
仁衡　琢磨	一般社団法人茨城研究開発型企業交流協会 会長	業界団体
	ペンギンシステム株式会社代表取締役社長	（地元企業）
加賀美吉彦	土浦商工会議所 総務部長	業界団体
樋 口　　隆	茨城県自動車整備振興会 教育部教育課 課長	業界団体
河野　正博	一般社団法人茨城県建築士事務所協会 常務理事	業界団体
	株式会社 河野正博建築設計事務所代表取締役	（地元企業）
坂 巻　　操	筑波メディカルセンター病院 事務部外来一課課長	地元企業
倉田　和典	社会福祉法人えがお 理事 統括部長 兼 法人事務局長	地元企業
舘野　仁志	五籃会会長（保護者会代表）	保 護 者
笠間　俊雄	輝峰同窓会会長（卒業生代表）	卒 業 生

○学校関係

佐久　芳夫	学校法人筑波研究学園 理事長
松下　博充	学校法人筑波研究学園 専務理事
野口　孝之	学校法人筑波研究学園 理事
	筑波研究学園専門学校 学校長
大森　淳子	学校法人筑波研究学園 理事
	筑波研究学園専門学校 副校長／こども未来学科 顧問
岡田　地余	筑波研究学園専門学校 IT ものつくり学科長
杉山由紀夫	筑波研究学園専門学校 自動車整備工学科長

原　　智 樹　　筑波研究学園専門学校 建築環境学科長
宮本　晃太　　筑波研究学園専門学校 医療情報学科長
唐澤　優江　　筑波研究学園専門学校 こども未来学科長
髙野　信夫　　筑波研究学園専門学校 総務部部長
木我　直樹　　筑波研究学園専門学校 教務部次長

（２）評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠
（３）評価方法：令和元年度学校運営・教育活動実績報告書に対する学校関係者評価

３．評価の項目

次の１０項目について実施

（１）教育理念・目標
（２）学校運営
（３）教育活動
（４）学修成果
（５）学生支援
（６）教育環境
（７）学生の受け入れ募集
（８）財務
（９）法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献

４．評価項目に対する評価

（１）各項目について、次の４段階を基準とし、小数点第一位で評価しています。

４：適切　　３：ほぼ適切　　２：やや不適切　　１：不適切

（小数点表示は評価者の平均点を記載）

（２）委員会で提出された意見や質疑、提案事項等を記載

５．その他

令和３年度 学校自己点検・評価を併せてご覧ください。

項目１　教育理念・目標　　評価：３．９

① 評価 10 項目にわたり昨年度の弱点を機敏に改善している。この「１項」は専門学校の本質である「不易流行」の起点と考える。「５か年計画」の「礎」として「更なる改善」に期待する。

② ５か年計画の策定及び教育課程の見直しなど、改善努力されている。

③ 的確な目標を掲げ、学校運営に当たられていると思う。

④ ニーズに合わせた教育を行っている。

⑤ 中間報告の際、経営理念と教育理念、校訓を常に意識できるようそれぞれの部屋に掲示された旨報告があった。特に後期については校訓を学生に浸透させるのは教員の力量にかかることであり、その温度差がないよう話し合いがなされていることについて評価できる。今後はそれを継続していくことが重要である。

⑥ 不断に見直し・改善を行っていて素晴らしい。

項目２　学校運営　　評価：４．０

① 本項においては、５「意思決定システム」が組織発展の基本。来年度以降の改善を期して厳しく評価 3.5 と評価したい。「改善結果」に期待する。

② 業務効率化について話がそれるかもしれないが、勤務校では会議資料を WEB 上で共有するようにしたことで、会議時に資料を印刷・配布する手間がなくなった。WEB 上で共有しているにも関わらず、さらに印刷・配布するようなケースも当初はあったが、今では多くの会議がペーパーレスで実施されるようになっている。貴校でも今後、効率化できる部分は積極的に変えていってもよいのではないかと思う。

③ 学科長等の負担軽減に向けた体制整備は、教育環境向上にも寄与するものと思う。

④ 時代のニーズを読み取り、将来的に何を求められているかを常に把握して、学校運営に当たられていると思う。

⑤ 財務をはじめとした事務部門の体制強化がなされていることは中間報告でも確認できている。半面、各学科の教育活動を取りまとめるべき教務部門の体制が弱いことを感じる。（教育課程編成委員会等より）

⑥ 体制の整備をよく進めていると思う。教職員の質について私は詳らかではないが、それが伴っていれば学校の運営の両輪が整っていると言えると思う。

項目３　教育活動　　評価：３．８

① 「本項」が「TIST の学校体制」の弱点と従来から痛感してきた。２項「学校運営」の「５組織システム」の弱点の証左となる。

② 自己点検評価に於いて、各設問項目について改善に向けて努力されている状況が窺える。改善方策について大変良い計画であると思う。

③ 毎年、成果が現れて来ていると思われる。

④ 全学科で産学連携授業が行われていることを高く評価している。一方で教員研修がやや低いことが気になったが、これについては教育課程編成委員会で校長より説明があり理解できた。学科別研修で学科目標を達成するための教員研修を明確にしていくことを評価したい。後は個人がどう設定し、それを学科長や教務がどうフォローするかが課題と言える。

階層別研修はどの職場でも課題となっているが、ｅラーニングについては関心があり、どのような研修が可能なのか教えていただきたい。

⑤ No.7、14について、学校内部でも良いので専任の人を置くことを考えてもよいのではないか。

⑥ 不断に見直し・改善をされていると承知している。残る課題は 7、11、13、14 であろう。7はアンケートでは不充分と思う。11・13・14は一体として強化頂くとよい。

項目４　学修成果　　評価：３．５

① 「就職率向上」は「面倒見の良いTIST」の「証明」である。また「退学率の向上」こそ「原資の支え」として評価したい。従来から提言してきた「卒業生の把握・活用」を期待する。

② 高就職率が素晴らしい。改善方策について大変良い計画であると思う。

③ 毎年、成果が現れて来ていると思う。

④ 中間報告の際にも申し上げたが、卒業生の活躍状況は企業訪問を通して企業からの評価を伺うことから始まることだと思う。卒業生のアンケートも大切だが、送り出した企業から意見を収集することで企業側からの評価につながると思う。

⑤ コロナ禍で学習がしづらい中、できる範囲でおこなっているので最善だと思う。

⑥ No.4について、卒業生の連絡先を入手できるのであれば、在学中にメールの宛先を得ていた方がよいのではないか。

⑦ 就職率は少子化要因により社会全体で向上傾向と思う。学修成果として今重視すべき評価項目は入学者の質・量の向上と思料する。そのためには資格取得率の向上・公表、卒業生の活躍例の把握・公表が効果的と思うが、未だ充分とは言えず、更なる改善を望みたい。

項目５　学生支援　　評価：３．７

① 「この項」こそ「面倒見の良い」「入って良かった」TIST の論証ではないか。　学内上げての具体化こそ「入学生確保」に繋がる。

② 学生支援にも注力されている状況が良くわかる。

③ 卒業後、資格習得の支援や指導が行われている。さらに希望者がいれば大学の道も検討してもらいたい。

④ 保護者会と連携してコロナ対策に当たっていること、評価できる。学校だけではなく、保護者の意見も取り入れて対策することが学校に対する信頼につながる。

⑤ No.8、9について、卒業生としてこの項目には興味がある。

⑥ 様々な施策を採られており素晴らしい。

項目６　教育環境　　評価：３．６

① 財務体制ガバナンスから財務体制の健全化こそ教育環境を整える本校の大きな課題である。２は当面の課題であろう。防災は改善の方向とみる。さらに期待する。

② ＡＥＤの設置はもとより、救命講習や訓練の機会もあると良いと思う。

③ コロナ禍では、民間コアワークスペースを活動の拠点としている社会人が多い。学校でも学科や学年を超えた交流スペースを充実させることで、学生の活動の様子を積極的に学校

外部へ発信させたらいかがか。

④　コロナ渦でオンライン研修が増えており、Zoom 等を使用しての会議等で発言する練習環境が望ましい。

⑤　実習先確保は「４」でも申し上げたとおり、先生方の企業訪問がどれだけなされているかだと思う。「卒業生が活躍している企業で在校生が学ぶことができる」ことは産学連携の強化でもあり、学校の魅力にもつながると思う。

⑥　No.３について、防災グッズ、災害発生を知らせる設備など、安全については万全にしていただきたい。

⑦　様々な施策を採られており素晴らしい。

項目７　学生の受け入れ募集　　評価：３．９

①　この項は ２「教育成果が正確に伝えられているか」に由来する。「３項活動」「４項学習成果」「５項学生支援」を発信する。オープンキャンパスの改良・改善こそ重要課題である。

②　今年度、貴校の先生方には何度もご来校いただいた。卒業生が貴校で活躍する姿を拝見する機会にも恵まれ、これまで以上に貴校についての理解を深めることができた。

③　ホームページは大変見やすく内容も充実していると思う。
高校ガイダンス等を通じて、学生へのアピール・露出を増やしていければ更に良いと思う。

④　かなり丁寧に行われていると思う。

⑤　学生や社会人向けにアピールする機会を積極的に探しているのか？広報活動を積極的に進めて認知される場を多くしてほしい。

⑥　インスタグラムやツイッターなどでの情報発信は学校の状況がリアルタイムで見ることができてよいと思う。学科毎に更新状態は違うが今後も継続してほしい。
教務が学校全体と各学科の特色をしっかりまとめ、広報と連携した募集活動を行うことが大切だと思う。

⑦　良い状況だと思う。学生募集活動において教育成果を伝える点の更なる改善については、資格取得率の向上・公表、卒業生の活躍例の把握・公表が効果的。更に進めてほしい。

項目８　財務　　評価：３．５

①　３ は、今後とも学校側でも目を光らせることになろう。担当への安心感が、今日の財政の汚点となっていないか？

②　設問№３（監査の適正）について、自己点検評価が大幅に下がっている点が気になる。

③　少子高齢化で学生が少なくなる中で、コスト削減と生徒の確保の具体的な案を示してほしい。

④　中間報告の際にもお話したが、しっかりとした管理となっており高く評価できる。

⑤　中長期的に見ると少子化により学生の奪い合いが厳しさを増すと思う。それを織り込むと中長期的に財務基盤が安定状態を保てるかは難しい課題といえる。中長期的な財務基盤安定の為に何が必要かを具体的に検討し、対策を練ることも必要であると思う。

項目９　法令等の遵守　　評価：４．０

① 今日の新しい体制になってリスクマネジメント、コンプライアンス体制が厳しく確認された。大いに期待している。

② 引き続き適正に法令遵守及び情報公開に取り組まれたい。

③ 確実に実施されていると思う。

④ 中間報告の際に様々な規程が整備されていることを伺っている。今後も高等教育機関としての法令を遵守していただきたい。
今年度のように取り組むべき重点課題を絞っていただくと取り組み状況がわかりやすく、次への課題（事業計画）も明確になるかと思う。ぜひ、継続していただきたい。

⑤ 様々な施策を採られており素晴らしい。

項目１０　社会貢献・地域貢献　　評価：３．７

① 専門学校の得意分野を実践する機会として、従来の「評価４」を期待する。

② コロナ禍で活動の機会は少なくなっているが、検定試験会場等施設貸出しや公共職業訓練講座の開催など、就職活動支援に積極的に取り組まれていることは大いに評価できる。

③ 学生たちに時間的に余裕があるのであれば社会貢献としてボランティア活動を推奨していただきたい。

④ コロナ禍での地域奉仕活動は困難かと思ったが、その分、学内奉仕作業で学生の意識付けができたことは良かった。まずは身近なところから始めること、これを継続することが大切だと思う。

⑤ 様々な施策を採られており素晴らしい。